

## 伊能忠敬に学ぶ

最近読んだ本、ひすいこうたろう&白駒妃登美著「人生に悩んだら『日本史』に聞こう」に、伊能忠敬のことについて書かれたものを抜粋して紹介をします。

伊能忠敬、江戸時代に徒歩で日本列島を縦断し、日本で最初に実測地図をつくった人物です。忠敬は、下総の国(千葉県)佐原にある造り酒屋、伊能家に17歳のときに婿養子に入ります。以来、酒屋の仕事に精を出してきました。婿入当時は、伊能家の家業は危機的な状態ではありましたが、忠敬は約10年かけて経営を立て直し、さらに家業の拡大に成功。そして50歳を迎えます。人生50年と言われていた江戸時代。でも、忠敬はなんと50歳になってから、小さい頃の夢、天体観測にチャレンジし始めたのです。天文学を本格的に勉強するため、江戸へ出ます。そこで、高橋至時(よしとき)に弟子入りします。師匠の高橋至時31歳、忠敬50歳です。忠敬は、地球の大きさを知りたかったので地図をつくろうと思ったそうです。忠敬55歳のときに測量の旅にでます。測量といっても、この時代に機械はありません。人の足と方位磁石を頼りに緻密な海岸線を描いていくという、気の遠くなるような作業が続けられました。55歳で、どんな難所も歩き測量していくのは、相当大変だったはず。3年をかけて蝦夷地・東北・中部地方の測量を終えました。そして、本来の目的であった地球の大きさの計算にとりかかりました。忠敬が導き出した地球の外周と、現在のGPSとスーパーコンピュータで計算した外周の誤差は、0.1%以下という驚異の精度だったそうです。忠敬は東日本の地図を作製し幕府に献上。第11代将軍家斉は、そのあまりの精密さに息を呑み、「西日本も含む日本全土の地図を作製せよ」と命じます。忠敬60歳のときです。最後の測量を終えたのは忠敬71歳です。55歳からチャレンジを始めて足かけ17年間、測量のために彼が歩いた距離は実に4万キロ。地球一周分に相当します。忠敬は73歳で病没しますが、弟子たちは、忠敬の死を隠し、地図の完成までこぎつけました。「この日本最初の実測地図『大日本沿海輿地全図』は、伊能忠敬がつくったものである」ということを、世に知らしめたかったからです。忠敬の人生は、夢に向かって一直線に突き進んだのではないです。いや、それどころか、夢とはなんの関係もない、婿入りした先の酒屋の仕事に一直線に突き進んだ人生でした。自分を取り巻く環境を受け入れ、そのときにできることを精一杯やり続けた。伊能家の当主として家族を大切に、商人として、お客様を大切に。そんな忠敬だったからこそ、夢であった天体観測を超えて、夢にすら描いていなかった、『大日本沿海輿地全図』の完成という歴史的大偉業へ運ばれたのだと思うのです。夢に生きるとは、やりたいことだけをやることではないのです。夢に生きるとは、好きなことだけやることではないのです。夢に生きるとは、目の前のことをすべて受け入れ、そのときにできる小さな一歩を踏み出し続けること。夢に生きるとは、大切な人たちを、ちゃんと大切にすること。チャンスはいつだって、いま、目の前にあるということです。

## ミル姉さんからの お♥ね♥が♥い

はあ〜い。ミル姉さんよ。私のこと覚えている？  
昨年、生徒のほとんどは私のことを知らなくて、モォ〜 ショックだったわ。でもね、君たちのお父さんやお母さんの中には、私のことを思い出しくて嬉しかったわ。昨年年末の紅白歌合戦に出演したから、少しは知名度が上がったはずよお〜。

こんな話はどうでもいいの！！。私、君たちに怒っているわ！！。  
昨年、あれだけ残乳0をお願いしたのに、今、残乳の量が多いことを聞いたわ。モォ〜 信じられない！！

知ってる？ 牛乳はカルシウム以外に、タンパク質、脂質、炭水化物、ミネラル、ビタミンがバランスよく含まれ、あなたの生命活動や健康維持に大切な役割を果たしているのよ。そして、イライラな気分をとってしてくれるのよお〜。

すごいと思わなあ〜い。だから、お♥ね♥が♥い。  
どのクラスも残乳0をめざしてがんばってほしいの。期待しているわよお〜。

